

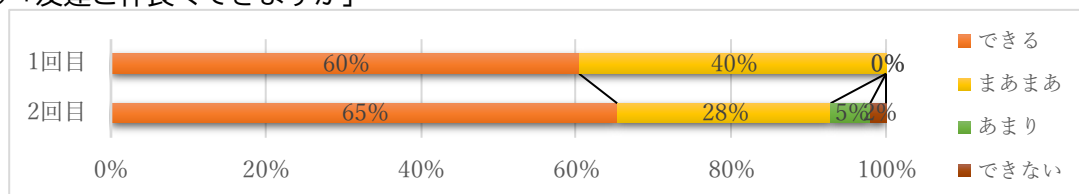
生活支援部だより

令和6年11月19日(火)
羽島特別支援学校
生活支援部
11月号

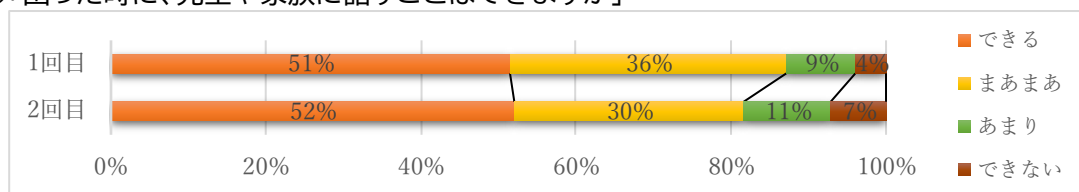
「第2回 生活アンケート」の結果について（各質問の中から一部を抜粋）
「学校いじめ防止プログラム」の一環として第2回生活アンケートを実施（10月実施）し、その結果についてお知らせします。アンケート後は、児童生徒と教育相談を行い、個別での対応をしています。

1 小学部

○「友達と仲良くできますか」



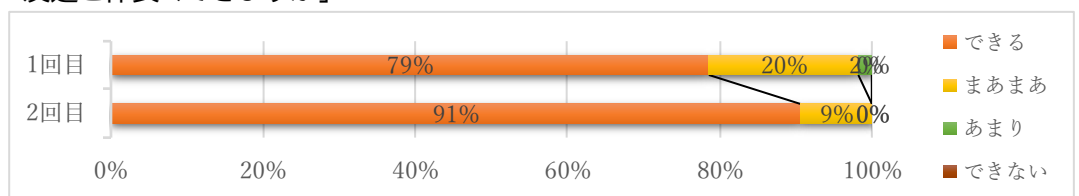
○「困った時に、先生や家族に話すことはできますか」



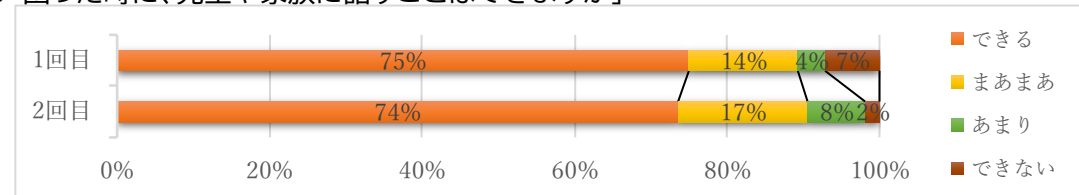
今回のアンケートでは、「友達と仲良くできる」と答えた児童が、1回目のアンケートより増加し、多くの児童が、新しい環境にも慣れ、友達や先生との信頼関係が築かれつつあることがうかがえます。しかし、「あまりできない」等の答えた児童も増加し、また、「困った時に、先生や家族に話すことができる」と答えた児童についても半数にとどまり、今後も、児童の様子をよく観察し、ささいな変化も見逃さないよう丁寧な支援を継続していきたいと思えます。

2 中学部

○「友達と仲良くできますか」



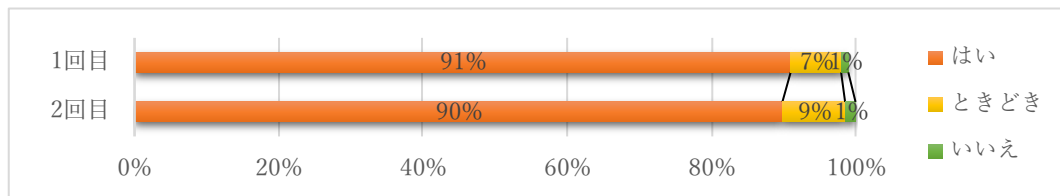
○「困った時に、先生や家族に話すことはできますか」



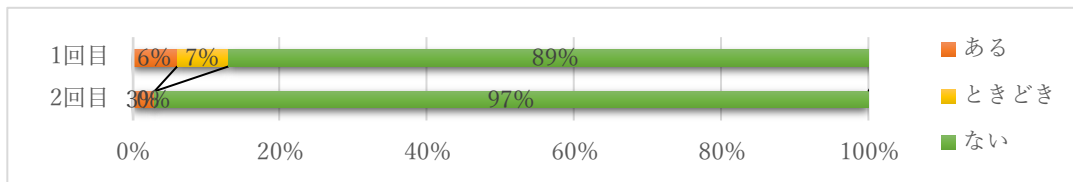
中学部でも、「友達と仲良くできる」と答えた生徒が1回目のアンケートよりも増加し、良好な友達関係が築けていることがうかがえます。また、「困ったことを先生や家族に話すことができる」と7割程度の生徒が答えており、小学部と比較しても、発達段階的な心の成長を感じることが出来ます。しかし、まだ、3割程度の生徒が、自分の気持ちを伝えることができないといった回答も見られ、今後も、生徒の様子を注意深く見守り、個に応じたきめ細かな支援を行っていききたいと思います。

3 高等部

○「友達と一緒にいると楽しいですか」



○「友達に嫌なことをされたことがありますか」

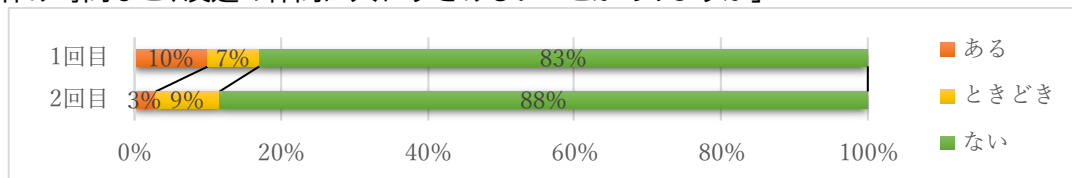


●具体的ないじめの態様

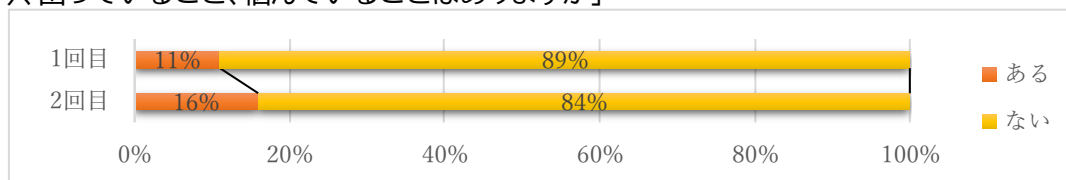
- ・軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。 1件
- ・その他(話し声がイライラする) 1件

高等部では、「友達と一緒にいると楽しい」と回答した生徒が9割にのびりました。また、「友達から嫌なことをされたことがある」と答えた生徒は、6月に実施した1回目のアンケート結果より3%に減少しました。主な理由の1つとして、入学時に初対面の友達との間に発生していたトラブルが、生活を共にし、お互いの理解が深まることで徐々に減少したこと等が挙げられます。しかし、アンケート以外から発覚するトラブルは時折発生しており、今後も粘り強く指導にあたっていくことが重要です。今回の上記の2つの事案については、学年集団で共通理解を図った上で、本人や関係者と個別指導を行い、現在、解決に向けて取り組み中です。

○「休み時間など、友達の仲間に入れずさみしいことがありますか」



○「今、困っていること、悩んでいることはありますか」



●主な内容

- ・自分の性格のこと 1件
- ・仲間や対人関係のこと 3件
- ・学校の勉強や生活のこと 2件
- ・家族のこと 2件

上記の主な内容については、アンケート後の教育相談で、担任が生徒から話を聞く時間を設け、解決に向けて日々取り組んでいます。今後も日々の生徒とのやり取りや定期的な個別懇談を行うなどして、生徒の心情に寄り添った心のサポートを行っていきます。

◎「学校いじめ防止プログラム」の詳しい内容につきまして、右のQRコードから当校のホームページの「学校いじめ防止基本方針」をご覧ください。

